

市議会だより

令和4年
第1回定例会
第278号
令和4年(2022年)
5月25日発行

日曜議会を 開催します

感染症対策のため、傍聴席数を減らしております。定員を超えた場合は、別室で音声のみのご案内となります。また、インターネット中継・動画配信も行っております。

日時 6月5日(日) 午前10時から
内容 一般質問 その他 手話通訳を行います。

場所 議場(市役所本庁舎4階)



第67回小金井の四季の観光写真コンクール 写真提供:小金井市観光まちおこし協会

令和4年度 一般会計当初予算を可決 第5次基本構想を可決

特選「春のひととき」児島 壽美滋

市長発言 庁舎等建設「設計等の大胆な見直しも含め議会と協議を」

市議会決議 「市長との協議の場にて着工可能な成案を得られるよう全力を傾注」

第1回定例会の概要

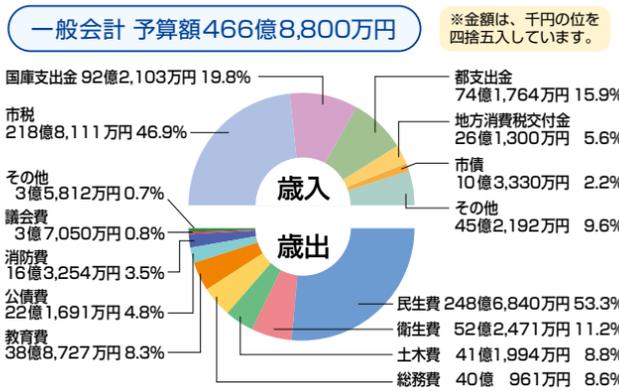
令和4年第1回定例会(鈴木成夫議長)は、2月17日に開会し、4日間の会期延長を経て、3月28日に閉会しました。

令和4年度一般会計予算を可決

令和4年度一般会計予算は、総額が前年度比約3・0%の増加となる。歳入歳出それぞれ466億8千800万円で提案されました。審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会(村山ひでき委員長)に付託し、7日間にわたり審査を行いました。

3月28日の本会議では、組替え動議が提出されましたが、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

なお、一般会計以外の国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の特別会計及び下水道事業会計については、原案のとおり可決しました。



庁舎建設問題をめぐり 第5次基本構想の審査が混乱し、会期を4日間延長

令和3年6月に市長が提案した第5次基本構想・基本計画(長期総合計画基本構想の策定について)を審査してきましたが、昨年12月の基本構想審査特別委員会協議会で、市長は「中期財政計画(案)は、庁舎等複合施設建設事業の検討もあるが、どのような対応が必要か、令和4年1月下旬までに相談させて欲しい」旨の発言をしました。

しかし市長は、本対応について、1月28日、3月3日の委員会では示さず、3月16日の委員会で、「具体的な方針を示せず、議会日程の変更で混乱をもたらした」と謝罪したほか、「これまで設計等の大幅見直しは否定的であったが、議会の決議や市民の意見を踏まえ、設計や建設の時期を大胆に見直すことも含め、議会と協議する場を設けた」旨の表明をしました。

これらを受けて、議会と市長が新庁舎等建設事業について協議することを前提に、3月22日の委員会では質疑を再開し、4日間の会期延長の末、3月28日の本会議において、原案のとおり可決しました。

また、市長から、この間の対応について自身の責任を明確にするため、給料を10%減額する「令和4年4月に小金井市長に支給する給料の特例に関する条例」が提案され、原案のとおり可決しました。さらに、議員から「庁舎等複合施設の建設に向けて、市長と市議会の協議の場において、着工可能な成案を得られるよう全力を傾注することを表明する決議」が提案され、原案のとおり可決しました。

令和4年第1回 定例会日誌

| 日 | 内容 |
|---------|---|
| 17日(2月) | 本会議(令和4年度施政方針、議案の審議・委員会付託・採決、陳情の採決) |
| 18日 | 本会議(議案の審議・委員会付託) |
| 20日 | 本会議(令和4年度施政方針の質疑) |
| 24日 | 本会議(一般質問) |
| 25日 | 議会運営委員会 |
| 28日(3月) | 本会議(一般質問) |
| 1日 | 本会議(一般質問) |
| 2日 | 本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託) |
| 3日 | 基本構想審査特別委員会 |
| 4日 | 厚生文教委員会 |
| 7日 | 建設環境委員会 |
| 8日 | 総務企画委員会 |
| 9日 | 予算特別委員会 |
| 10日 | 予算特別委員会 |
| 11日 | 予算特別委員会 |
| 14日 | 予算特別委員会 |
| 15日 | 予算特別委員会 |
| 16日 | 基本構想審査特別委員会 |
| 17日 | 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 |
| 18日 | 行政改革推進調査特別委員会 |
| 22日 | 本会議(議案の訂正、委員会付託案件の採決、議員提出議案の審議・採決) |
| 23日 | 基本構想審査特別委員会 |
| 24日 | 厚生文教委員会 |
| 24日 | 建設環境委員会 |
| 24日 | 総務企画委員会 |
| 24日 | 予算特別委員会 |
| 28日 | 本会議(委員付託案件の採決、会期の延長) |
| 28日 | 予算特別委員会 |
| 28日 | 本会議(議案の審議・採決、委員付託案件の採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託) |

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>



審議した主な議案

令和4年度 一般会計予算

予算の概要は1面に掲載しています。

【反対討論】(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

日本共産党が求めてきた居住支援協議会の設置や認知症高齢者グループホーム整備など、多くの市民生活支援が含まれておりその点は評価をするが以下の点について問題があり反対する。

- ①コロナ対策と市民生活支援策が不十分なこと。②国保税の値上げなど市民負担増が行われていること。③ごみ減量に逆行する補助金の引下げが行われていること。④新庁舎建設事業や公立保育園廃園方針案について市民や議会の声を聞かない強引な市政運営が行われていること。

【賛成討論】(要旨)

五十嵐京子(自民党・信頼)

コロナ対策を始め市民生活に不可欠な予算であり、デジタル化推進など評価できる項目もあるが、今定例会の市長の予算提案姿勢には問題があった。自ら予算の提案をしながら審査に水を指すような状態を作り、審査ができるような条件整備も議会に任せきりで、市長として考えられない事態であった。

公共施設の更新、庁舎の建設、福祉事業の充実等多くの課題を抱え、一つとして気を抜けない市政のバランスを考え、計画的に執行されることを要望する。

【反対討論】(要旨)

片山かおる(市民力エール)

中期財政計画と新庁舎建設について市長の答弁が先送りされ、

会期延長も含む議会日程の大幅な変更があった。市長の提案姿勢に大きな疑問を感じる。昨年の予算審議時は何一つ示されなかった公立保育園廃園方針案の準備行為が進んでいない。廃園方針案を撤回しない限り何らかの名目で廃園に向けて予算が執行されると考えられるため、本予算は認められない。居住支援協議会や子どもオンブズパーソン設置などは非常に重要であり、押し進めるべきである。

【賛成討論】(要旨)

沖浦あつし(みらい)

前年度比13億円増、当初予算ベース過去最高額の本案に対し、コロナ感染症の影響を見込む中で厳しい予算編成ながら、児童福祉費約6億円増を含む民生費全体約12億円増と、子育て環境や暮らしに直結する事業へ充当したことを評価し賛成する。

一方で、中断した新庁舎等複合施設建設は新年度に「協議の場」を持ち、再度合意点を見出すこととなった。何が決まり、いつまでに、どうなるのか一日も早く市民にお示しできるように、行政も議会も努力すべきである。

【反対討論】(要旨)

渡辺大三(情報公開)

反対理由①職員人件費の削減に向けて具体的な取組が乏しい。「行革疲れ」などと言っている場合ではない。②庁舎等移転に伴う跡地等活用方策検討委託料約千200万円が計上されているが、安易に委託するのではなく、行政自ら課題の整理や全体像の策定を行うべきである。③多摩26市で最高額の国民健康保険税の値上げなど、市民を守る姿勢

が乏しい。新型コロナウイルス感染症が社会経済や市民生活に与える影響を考慮することを求める。

【賛成討論】(要旨)

宮下 誠(公明党)

小中学校の「洋式トイレ」について校舎内で新たに47基設置されることを確認、新年度末には60・5%となり、令和7年度末には80%を目指すことも再確認できた。「産後ケア」については、自己負担が、日帰りは6千円から3千円に、宿泊は1万2千円から6千円へと大幅に軽減され、更に利用しやすくなる。ほか、若者から高齢者まで幅広い年代層が楽しめる「ポルウォーキング教室」も新たに開設されるなど、党派として推進してきた施策が種々実現する。

新庁舎等の建築関連予算が入っていないので賛成できない。我が会派は、今の設計とスケジューリングを進めるよう求めてきた。現行計画は、これまでの経緯があり、建設を止める事由はないと判断している。関連する審議会の予算も入らず、市民参加への影響も出ている。無策の先送りはやめるべき。市長が、「設計や建設の時期を大胆に見直す」とも含め、議会と協議する場を持ちたい」としたのも遺憾だ。公立保育園の廃園方針は、パブコメ後の判断を見定める。

【賛成討論】(要旨)

斎藤康夫(市民会議)

新庁舎及び新福祉会館の設計は、市民を含めた検討委員会による基本構想、基本計画、建設計画調査を経て、12名の市議会議員の申入れを設計条件としたプロポーザルコンペにて選出された設計案で進んでおり、民主的な

な手続を踏んでいる。第二庁舎の35年間の賃貸料は新庁舎の建設費に相当する。この行政効果は自前庁舎の4分の1と非効率であるので、新庁舎建設はスケジューリングを進めるべきである。本予算に計上されていないことは大変遺憾である。

【賛成討論】(要旨)

安田けいこ(生活者ネット)

子どもへの環境教育充実のためワークショップや森林教育の予算が計上されている。市全体で子ども同士のつながりを作り、「子ども環境会議」など子ども参加や意見聴取の機会へ発展させることを期待する。都市計画マスタープランは反対意見の多い優先整備路線について、誰が読んでも理解できる明確な見直しの表現を求める。HPVワクチンの積極的な勧奨を再開するに当たり、子宮がん検診の重要性の周知、包括的性教育の実施を強く求める。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う見直し等のため、提案が延期され、令和3年第2回定例会において、議長を除く全議員で構成する基本構想審査特別委員会(村山ひでき委員長)に付託し、11回にわたり審査を行いました。

【反対討論】(要旨)

森戸よう子(日本共産党)

市民、部局の皆さんの努力に感謝する。しかし新型コロナウイルスパデミックという新しい社会を迎え、公的な責任を果たすことを明確に打ち出すべきこと、持続可能な財政運営が負担増や委託化など市民犠牲の「行革」をより強化し進めることに繋がりに兼ねないこと、自然が施策全体の土台であるという位置付けが弱いこと、市民参加と協働を更に活性化させる点で厳しい市政の監視を打ち出す必要があるなど、市民にとって利益とならない部分があるので反対する。

【賛成討論】(要旨)

小林正樹(公明党)

長期計画審議会の皆様に感謝申し上げる。SDGsなど公明党の意見も多く取り入れて頂いたが、コロナ禍での新庁舎建設等事業費などを巡り、議会が大変に混乱した。施策の効果的・効率的な推進を図るために必須である、確固たる中期財政計画が掲載できなかった計画は、信頼性が低いと言わざるを得ない。また、市長は「市民参加」を掲げながら、審議会の皆様が答申の中で「市民のしあわせ」という魂を込められた部分を排除したことは、非常に残念である。

長期総合計画基本構想の策定について

3月22日の委員会では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月28日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【賛成討論】(要旨)

水谷たかこ(こがおも)

本市は多摩26市の中で、保険給付費が23位と少ないにもかかわらず、保険税額は最も高い。市民の負担力が高いからと制度を説明されるが納得はできない。一方で、法定外繰入金に市の財源をこれ以上投入することには、他の保険に加入している市民の理解を得ることが難しい。

原案のとおり可決しました。3月28日の本会議では、修正案について否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【反対討論】(要旨)

水の上洋志(日本共産党)

新型コロナウイルスなどで市民生活が大変な中、国保税は加入者1人当たり約2千200円の値上げである。一般会計からの繰入額は、国の方針で削減されてきた。今回は一定増額されたが、まだ18年度を下回っている。繰入額を増やし増税をやめるべきである。都への納付金約2億円増が値上げの主な要因だが、都の財政支出が必要である。加入者の8割近くが無職・非正規雇用などで高くて払えない現状で、知事会要望の公費1兆円の投入を国に要請することを求め反対する。

加入者の年齢構成や所得、医療費水準等の構造的な課題があり、制度自体を再構築し直す必要があると考えている。都や国に対して制度改善の意見を強く訴えるよう要望し、賛成する。

【賛成討論】(要旨)

吹春やすたか(自民党・信頼)

本陳情は75歳以上の後期高齢者で対象となる方達の懸念される観点を基に書かれているが、なぜ今回の改革がなされるのか本質を捉え考える必要性を強く訴える。後期高齢者医療費は窓口負担を除き、約4割は若い世代の支援負担であり、更に増大が見込まれる。単純計算でも1年で2千600億円の支援負担増加を毎年求め続けることになる。現役世代の人達はこのことをどう捉えるだろうか。世代間での不公平さは取り除く努力をするべきで、本陳情に反対する。

【反対討論】(要旨)

白井 亨(こがおも)

昨年11月以降庁舎等建設に向け具体的な方針を示せなかったことや、会期延長の責任を明確にするため、4月の給料を10%減額する内容で、市長が4か月間、調整の行動が皆無だったことは非常に残念である。一方で庁舎等建設の混迷は市長のみの責任ではない。責任の取り方は考えは様々だが、今定例会では市長へ辞職を問う厳しい意見もあり、市長の出処進退を問われていると認識いただきたい。また減給で混乱の責任を取ったことにはならないので反対する。

と、また、第1回定例会の議会日程に影響を及ぼしたことに付いて、市長としての責任を明確にするものです。

【賛成討論】(要旨)

75歳以上医療費窓口負担2割化を中止するよう政府に意見書提出を求める陳情書

75歳以上医療費窓口負担2割化を中止するよう政府に意見書提出を求める陳情書

令和4年4月に支給する給料の特例に関する条例

【賛成討論】(要旨)

令和4年4月に 小金井市長に支給する給料の特例に関する条例

本条例は、令和3年11月以降、庁舎等複合施設建設事業等の具体的方針が提示できなかったこと

【反対討論】(要旨)

令和4年4月に 小金井市長に支給する給料の特例に関する条例

本条例は、令和3年11月以降、庁舎等複合施設建設事業等の具体的方針が提示できなかったこと

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

| 議案の審議結果 | | ○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(病欠療養) 議：議長(原則、採決には加わらず) | | | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 自 | み | 共 | 公 | お | 市 | 会 | 情 | ネ | 気 | 緑 | 付託先 | | | | | | | | | | | | | |
| 付託先略称 | 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会 庁：庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 行：行財政改革推進調査特別委員会 基：基本構想審査特別委員会 | 清水 | 吹 | 遠 | 湯 | 五十 | 岸 | 沖 | 鈴 | 村 | た | 寺 | 水 | 森 | 渡 | 小 | 宮 | 白 | 水 | 片 | 斎 | 渡 | 安 | 古 | 坂 | |
| 長期総合計画基本構想の策定について | ↳長期総合計画基本構想の策定についての訂正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市子どもオンブズパーソン設置条例 | 令和3年度小金井市一般会計補正予算(第15回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度小金井市一般会計補正予算(第16回) | 令和3年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第4回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第2回) | 令和3年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度小金井市下水道事業会計補正予算(第1回) | 令和4年度小金井市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ↳令和4年度小金井市一般会計予算に対する組替え動議(議員提案) | | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 令和4年度小金井市国民健康保険特別会計予算 | 令和4年度小金井市介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和4年度小金井市後期高齢者医療特別会計予算 | 令和4年度小金井市下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて | 教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市行財政改革審議会条例 | ↳小金井市行財政改革審議会条例に対する修正案(議員提案) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例 | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例 | ↳小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対する修正案(議員提案) | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 小金井市手数料条例の一部を改正する条例 | 障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市青少年の健全な育成環境を守る条例を廃止する条例 | 小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市芸術文化振興条例の一部を改正する条例 | 小金井市緑地保全及び緑化推進条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市住宅増改築資金の融資に関する条例を廃止する条例 | 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和3年度小金井市一般会計補正予算(第17回) | 令和4年度小金井市一般会計補正予算(第1回) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和4年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第1回) | 小金井市公共施設マネジメント基金条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 副市長の選任に関し同意を求めることについて | 令和4年4月に小金井市長に支給する給料の特例に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 請願・陳情の審議結果 | | ○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(病欠療養) 議：議長(原則、採決には加わらず) | | | | | | | | | | | | | | | | 議決結果 | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 自 | み | 共 | 公 | お | 市 | 会 | 情 | ネ | 気 | 緑 | 付託先 | | | | | | | | | | | | | |
| 件名 | 要旨 | 清水 | 吹 | 遠 | 湯 | 五十 | 岸 | 沖 | 鈴 | 村 | た | 寺 | 水 | 森 | 渡 | 小 | 宮 | 白 | 水 | 片 | 斎 | 渡 | 安 | 古 | 坂 | |
| 75歳以上医療費窓口負担2割化を中止するよう政府に意見書提出を求める陳情書 | 75歳以上医療費負担2割化法案が可決され、実施により受診控えや、後日の重症化リスクが増大し、保険給付増による市財政の圧迫が予想される。そのような事態を防ぐ上でも、75歳以上医療費負担2割を中止するよう政府に意見書を提出することを求める。 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市の温暖化対策加速に関する陳情書 | 温暖化対策は国の施策が大きな役割を果たすが、地域の市民や事業者の省エネ・再エネ導入行動を更に促す取組の加速も必要であり、基礎自治体ならではの資源を最大限に活用し、市役所の各部署が主体的に取り組み全体的な取組づくりを検討することを求める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「デフリンピック東京開催を求める意見書」の提出を求める陳情書 | 聴覚障がい者イベントの開催により、聴覚障がい者への理解と社会参加を進め、東京の共生社会構築に寄与することが期待されるため、2025年に聴覚障がい者の国際スポーツ大会「デフリンピック」を東京で開催するよう東京都に意見書を提出することを求める。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 玉川上水の名勝小金井(サクラ)復活プロジェクトの検証及び今後の整備は、市民の理解と合意を得て進めることを求める陳情書 | ①今後の整備の在り方について、市民意向調査を行う、②東京都と協議し、樹木と法面崩壊の関係について多角的多面的に検証を行い、今後の管理に反映させる、③今後の管理・伐採について市民の理解と合意を得て、近隣市とも意識を共有して行うことを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | △ | △ | △ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市における縄文遺跡群の次世代に向けた保存活動の推進を求める陳情書 | ①出土品の画像データベース化を進め、学術者や市民が気軽にアクセスできる環境を整備する、②遺跡出土地への立て看板設置の徹底、③小金井市縄文遺跡群の認知向上を図る、④はげの環境保護活動は縄文遺跡群の保護でもあるとの認識を付け加えることを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 市議会に対し、「みどりを基本にいかそうみどり」を明示し、「第5次基本構想(以下「構想」)の策定」を求める陳情書 | 第5次基本構想では、まち創りの方向性について「[みどり]を保全し、生かすこと(いかそうみどり)」を基本とし、その下に「笑顔」と「人の輪」を重視したまち創りを目指す」と明示し、今後の都市計画の羅針盤たりうる「構想」を策定することを強く求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小金井市の都市計画に関して議会として監査請求等を求める陳情書 | 決定主体の国土交通省や市の顧問弁護士への問合せも行っていないことが判明した小金井市の都市計画の決定手続に関して、市議会として監査請求を行い、小金井市監査委員の見解を明らかにすること、小金井市顧問弁護士の見解を明らかにすることを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 前原町3丁目大規模宅地開発市道213号線と接する擁壁の高さを制限することを求める陳情書 | 前原町3丁目大規模開発地南側の盛土、擁壁の高さを子供やお年寄りでも安全に飛び降りたり、乗り越えることが出来る高さ「50cm」程度にすることを、同意書を出す場合は、変更した計画を周辺地域に知らせ、周辺地域の同意を得た上で提出することを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 前原町3丁目大規模宅地開発市道213号線と接する開発地の3mのセットバックを求める陳情書 | 緊急車両が通れるよう、宅地造成工事規制区域の指定であることを考慮して、市道213号線と接する開発地南側道路の3mセットバックを指導すること、同意書を出す場合は、変更した計画を周辺地域に知らせ、周辺地域の同意を得た上で提出することを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 前原町3丁目大規模宅地開発で既存樹木保護を求める陳情書 | 業者に対して周辺住民の生活環境や自然環境に配慮すること、現在残っている既存樹木の保護に関する計画を立てよう指導すること、また、同意書を出す場合は、変更した計画を周辺地域に知らせ、周辺地域の同意を得た上で提出することを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 前原町3丁目大規模宅地開発に関して提供公園の位置の再考を求める陳情書 | 開発地内の提供公園については、地域コミュニティ、地域防災の観点から、新旧の地域で市民交流が図れるよう既存の道と接してつくるよう指導すること、同意書を出す場合は、変更した計画を周辺地域に知らせ、周辺地域の同意を得た上で提出することを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 前原町3丁目大規模宅地開発に関して開発地を防音柵または防音壁で囲い工事を行うことを求める陳情書 | 市の条例では騒音を出す場合は防音壁を設置するよう求める記載があることから、開発地を防音柵、または防音壁で囲い工事を行うことを要請すること、同意書を出す場合は、変更した計画を周辺地域に知らせ、周辺地域の同意を得た上で提出することを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 新小金井駅西口駅前広場の都市景観に配慮した適切な整備を求める陳情書 | 新小金井駅西口駅前広場で、都市景観上の問題を抱えるエリアに関して地元住民等と十分に協議の上、都市景観に配慮した適切な整備を図り、その際は地域活性化に資するイベント開催などに対応できる内容を検討すること、完成度の高いものとすることを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「玉川上水の桜」の問題に関する陳情書 | 玉川上水の桜の花見の賑わいを知っている市民は少ない。今の玉川上水の桜は昔物語で、非現実的である。今、ケヤキの伐採が進んでいるが、伐採には何の意味があるのか、伐採費用がかさむだけに感じる。玉川上水の桜という問題は放っておけばよいのではないか。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 原爆歴78年度の早い時期に「イベルメクチン」を配布する事に関する陳情書 | ①小金井市議会として、イベルメクチン・安定ヨウ素剤・N95マスクの有償または無償の配布をするよう意見書の提出をすること、②小金井市独自に、イベルメクチン・安定ヨウ素剤・N95マスクの希望者への有償または無償の配布をすることを求める。 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |

*可否同数の場合、議長が可否を決定します。

【会派略称】 自：自由民主党・信託の小金井 会：こがね市民会議 議：みらいのこがね 情：情報公開こがね 共：日本共産党小金井市議団 議：生活者ネットワーク 公：小金井市議会公明党 議：元気！小金井 市：市民といっしょにカエル会 議：緑・つながる小金井

次の定例会中の委員会で審査する請願・陳情の提出期限は、6月3日(金)午後5時までです。

一般質問

(4面～6面) 2月24日、28日、3月3日、4日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。QRコードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

| | | | |
|-------------|--------------|---------------|-----------|
| (自民党・信頼) | 自由民主党・信頼の小金井 | (市 民 会 議) | こがねい市民会議 |
| (み ら い) | みらいのこがねい | (情 報 公 開) | 情報公開こがねい |
| (日 本 共 産 党) | 日本共産党小金井市議団 | (生 活 者 ネット) | 生活者ネットワーク |
| (公 明 党) | 小金井市議会公明党 | (元 気 ! 小 金 井) | 元気!小金井 |
| (こ が お も) | 小金井をおもしろくする会 | (緑・つながる) | 緑・つながる小金井 |
| (市 民 カ エ ル) | 市民といっしょにカエル会 | | |

西岡市長の市行事での配慮について問う

吹春やすたか (自民党・信頼)

今年是小金井市で成人式が無事開催され、男女合わせて千175人の新成人が誕生した。直前まで新型コロナウイルス感染症対応で苦労された担当部局には本当に感謝の気持ちしかないものである。成人式は人生の節目として大切な行事の一つであり、本人だけでなく家族にとっても成人式が行われるかどうかは大きな問題である。本市の会場では晴れやかな成人が座る席と席の間が全てXマークで埋め尽くされていた。この光景を目にした人は実質少ないので苦情はなかったと思われるが、市長として配慮が



1月10日の成人式会場

欠けているのではないかと。成人式は3部制のため、最初に気付いたのであれば付け替えも可能と思われるが、対応しなかったのはなぜか。市長 一生に一度の成人式で細かい配慮は必要だと考える。ご指摘を受け止め来年の成人式は改善したい。また当日は時間がなく途中での切替えに至らなかった。



関野町地域の課題の解決策について問う

小林正樹 (公明党)

①「関野町地域」で抱えている課題は、「歩いて暮らせる安全・安心のまちづくり」を目指す上で、市内どの地域でも同様の課題を有しているものと考えられる。(ア)通学路に防犯カメラ設置を。(イ)ICTを活用した直売所の監視を。(ウ)市から郵便ポスト設置の要望を。(エ)デマンド交通などを用いた交通不便地域の解消を。(オ)見守り移動販売支援事業の検討を。(カ)小金井市指定無形民俗文化財「関野町餅つき」を広めないか。(キ)生産緑地の保全について。

部長 (ア)財源確保に努めながら総合的に研究する。

(イ)幅広く農業者の声を伺い支援を検討する。(ウ)公共交通の在り方を総合的に検討する。(オ)他の施策と情報連携を図る。(カ)末永く保護し、広く周知すべきと考えられる。

市長 (ウ)要望があったことは小金井郵便局に伝える。

②子どもの医療費助成について。(ア)中学校3年生までの所得制限撤廃へのスケジュールは。(イ)高校3年生までの医療費無償化の方針を小金井市でも定められないか。

部長 (ア)変更なく令和5年10月を予定している。

市長 (イ)前向きに検討する必要がある。

■その他、マロンホールの土曜日の期日前投票実施について質問しました。



浴恩館の歴史を語り継ぐ自治体DXの進捗状況

五十嵐京子 (自民党・信頼)

①現在、文化財センターとして使われている浴恩館は、昭和初期に全国の青年団講習所として建てられ、時代を超えた普遍的な社会教育理論の実践例として再評価したい所である。(ア)市民向けに浴恩館の歴史の講座をこの場所で行わないか。(イ)子ども向けに解説書を作らないか。(ウ)文化財の保管の現状は。(エ)周りの環境もしっかりと維持管理を。

部長 (ア)歴史的に内外に誇るべき所であり、検討していきたい。(イ)先生からも要望があれば相談したい。(ウ)十分な保管面積の確保が課題。(エ)地域の拠点として、

地域の魅力向上につながるか研究していきたい。

②令和2年にDX推進計画、令和3年に手順書が国から示され、市の推進方針を定めるとのことだが、(ア)進捗状況は。(イ)引越越しワンストップとは。(ウ)新庁舎にどういかすのか。

部長 (ア)リーダーを配置し、庁内アンケートを実施。今後DX推進方針を固めていく。(イ)行政機関、自治体と民間業者に対する引越越しに伴う手続を一括で行う。

市長 (ウ)双方の進捗を勘案し、ハード面において反映すべきは反映する。

■その他、新庁舎建設に向け保管書類の削減整理について質問しました。



アプリを使った新しい時代のごみ拾い

宮下 誠 (公明党)

最近、若い世代がアプリ等を活用して積極的のごみ拾いを行っている。(ア)この場合、市のボランティア袋は使えるのか。(イ)普段多くの市民が清掃活動をしている。こうした活動を見える化し、更に参加者の裾野を広げる努力をすべきでは。

(ウ)先進自治体を参考に、市として専用のWEBサイトを開設するなど、ごみ拾いアプリを導入した環境美化に取り組まないか。

部長 (ア)可能である。具体的にはごみリサイクルカレンダー(P27)に説明あり。(イ)活動の周知はまだまだ不十分。また参加者が高齢

化しつつあり、若い世代を取り込むなど裾野を広げる仕組が必要。(ウ)紹介された新たな時代のごみ拾いは、今後本市でも求められる。提案されたアプリの活用は若い世代に受け入れられると考えるが、利用価値を高め、活用するには費用もかかる。まずは導入自治体の事例を把握することから始めたい。



子どもの幸せを最優先する社会の実現を

渡辺ふき子 (公明党)

①新型コロナウイルス感染拡大は、子どもの学びや成長に大きな影響を与えている。(ア)子どもが発する相談の現状や取組状況について。(イ)子どもオンブズパーソンが担う役割と開設スケジュールについて。

部長 (ア)不登校に関すること、発達に関すること、友人とのトラブルなど生活指導上の問題などが全体の8割を占め、教育相談は増加傾向にある。(イ)4月から準備を始め9月には相談事業を始めたい。調査では、子どもが悩みを相談するのは家族や友達が多く、一方で相談したいが相談できない

い子どもが13%いる。身近な人からの権利侵害は相談しづらい状況がみえる。どんなことでも相談できる子ども専用のワンストップ窓口として広く広報したい。

②危険な交差点や狭隘な道路の安全対策について。(ア)前原交番前交差点の安全対策には、拡幅事業の推進とともに、歩車道分離式の信号機を設置できないか。(イ)七軒家通りから東八道路まで抜けられる安全な道路が必要ではないか。

部長 (ア)更なる渋滞につながり難しい。

市長 (イ)課題については承知しており改善に向けて丁寧に積み上げていきたい。



用途を逸脱しない範囲で必要な防災無線の活用を

沖浦あつし (みらい)

防災行政無線の本市の管理運用上、放送の種類は、災害等の非常事態や人命、特に緊急重要な事項に関する「緊急放送」(または機器の試験調整)の一つしかない。私が以前提案した子どもの下校時の安全呼び掛け放送を実施する近隣市や、市の普及周知として選挙の投票の呼び掛け放送を行う他市の管理運用を調べると、緊急放送とは別区分の「一般放送」として運用している。他市事例のように、用途を逸脱しない範囲で必要と認める放送については、それができる環境を整えて欲しい。本市でも緊急放送以外に一般放送を区別した方が今後の対応として適切と考えるが、いかがか。

部長 一般放送として使用する自治体があることは認識している。市民へ様々な情報提供手段がある中、一般放送として放送する有効性を見極める必要がある。本来の目的である防災行政に関する事項を踏まえ、在り方については影響等も広く考えられるので、他市の運用状況も参考に研究する。

■その他、特殊詐欺被害防止に向けた本市の協力度体制、防災行政無線から夕刻定時に流れるふれあいメロディに、小金井市歌または愛唱歌を登用しないかについて質疑・要望しました。



学校連絡アプリ導入とトイレ清掃の改善を

白井 亨 (こがねい)

①学校と保護者の連絡アプリの導入を求めている。(ア)文部科学省の通知のように教育委員会も連絡手段のデジタル化は負担軽減に寄与すると認識しているか。(イ)お便り等をメールの活用でペーパーレス化した学校の反応は。(ウ)アプリのテスト導入から始めてはどうか。

部長 (ア)デジタル化で負担軽減につながる場合もあると認識している。引き続き学校の情報発信のデジタル化を後押ししていきたい。(イ)印刷の手間を省けることや、A4への書式統一、直前まで修正可能な利点があると聞いている。(ウ)テスト

導入については各学校の考えも丁寧に確認したい。

②学校トイレの清掃の改善も以前から訴えてきた。臭いなどから一日中トイレを我慢している子どももいると聞いている。(ア)このような事実をどのように捉えているか。(イ)一度、全体的なトイレのメンテナンスについて、抜本的に実態調査をした上で具体的に検討してもらいたい。

部長 (ア)寄せられた声を聞き、大変心苦しく思っている。(イ)清掃の時間帯や使う洗剤等も含め受託者と協議中である。臭気対策や設備の老朽化度合い、使用のされ方の違いも含め適切な清掃方法を研究したい。



町会・自治会に加入して いただく環境を整えよう

村山ひでき

(みらい)



町会・自治会は重要な存在だが加入者は減少傾向にある。(ア)必要性を認識しているか。(イ)今後ネット空間で地域住民がつながる電子掲示板が重要となるが、SNS「マチマチ」の活用効果は。(ウ)いわゆる回覧板について見直しを。町会・自治会が独自に街角に設置している情報掲示板の設置費用の補助や情報掲示板そのものを希望団体に提供できないか。(エ)町会・自治会の加入ご案内チラシを不動産業者等に協力してもらい、物件探しの段階から新規転入者にお渡しできないか。(オ)自治会的な活動をしている管

理組合は「みなし自治会」として自治会登録をしてもらう工夫を。(カ)町会・自治会加入促進条例を定められないか。

部長 (ア)地域の生活向上、環境改善において重要な役割を果たしていただいている。(イ)電子回覧板の活用による紙の回覧板の非効率性の解消や、若年世代・非加入者の巻き込み、イベント・活動への参加促進などが見込まれる。(ウ)今後の検討課題として受け止めた。(エ)一定の要件を備えたマンション管理組合を、町会・自治会と同様の組織として位置付けられることとした自治体もあるので研究したい。(カ)慎重であるべきだが、研究してまいりたい。

グリーンケアを施策の中に取り入れられないか

遠藤百合子

(自民党・信頼)



①人は、自分にとってかけがえないものを喪失した時、これまでに経験したことのない、非常に深い悲しみに襲われる。心の奥底からほとぼしる、湧き出るような感情を「グリーン」と呼ぶ。(ア)グリーンケアの認識は。(イ)施策として取り入れられないか。(ウ)「おくやみガイドブック」の作成するきっかけは。

部長 (ア)専門家等による支援で令和元年度に発行した「認知症の家族のための介護者手帳」で触れている。(イ)高齢者に限らず取組が広がっており、公的機関がどう支援できるか、関係機関

利用度の低い公園の 新しい管理手法への提案

清水がく

(自民党・信頼)



東日本大震災から11年を迎えた。地域の自主防災組織では災害に備えるため資材を揃えるとなると防災倉庫が必要になるが、倉庫の設置場所が見つからない。一方で、利用度が少ない公園の管理が行き届いておらず、草木が生い茂り道路側の歩行スペースや電線にまで木々が到達していることもある。行政が対応すべき公園が多く存在し、予算にも限りがあるため、市民の要望に対し行政の手が回っていないことが現状であり、地域の方から多くのご相談を頂いている。

この状況を踏まえて提案

する。公園の周辺住民のご承諾を得て丁寧に進めていくという前提で、利用度の低い公園内に防災倉庫を設置させて頂き、防災倉庫を設置する自主防災組織が、行政の手が行き届いていない公園の樹木の剪定や草刈りを行政に代わり行うという管理手法はどうか。

部長 ご提案いただいた公園管理の事業手法は市民の皆様のお力をお借りできるのであれば、本市としては市民協働という形で管理していくのが一番理想的と考える。今後も真摯に対応していきたい。また、防災倉庫設置については周辺住民との協議によりご承諾を得て丁寧に進めていく。

目指そう「2025年」 気候危機対策強化を

坂井えつ子

(緑・つながる)



①女性管理職を増やそう。(ア)女性職員比率は、部長がゼロ、課長は20・4%、係長職は23・3%である。今後5年間で部長職の多くが退職すると聞かすが、現状は。②2027年には、女性管理職50%を目指す。

部長 (ア)今後5年間で、部長職11名中10名が、課長職も一定数が定年退職を迎え、組織の大きな転換期になる。(イ)女性管理職が増えると、市政運営に多様な視点を持つことにもなる。まずは、管理職候補の係長を増やすため、昇任試験申込率、主任35%、係長職25%を掲げ、取り組んでいる。

公共施設の長期修繕計画 国と小金井市の財政

斎藤康夫

(市民会議)



自治体の財政は歳入基盤がしっかりしていなければ市民サービスの低下につながる。歳入構造の改革をすべきである。また、地方債を活用して庁舎や下水道のよきな社会資本の整備は確実に進めなければならない。

市長 日本の債務残高は主要先進国で最も高い水準にある。国の骨太方針2021では、プライマリーバランス黒字化、債務残高の引下げを目指すと言われており、地方財政では、国の財政政策に影響される。公共インフラの整備には起債を最大限に活用し、市民サービスの低下にならないように努める。

公共施設に限らず、建築物には長期修繕計画が必要であり、マンション管理計画の認定制度でも提出要件となっている。市が所有する建築物の長期修繕計画を策定すべきである。

部長 個別施設計画では、各施設の今後10年間の改修等のロードマップを示している。総合体育館と栗山公園運動センターは長期修繕計画を策定している。

②千兆円を超える国債は、政府の借金であるが、国民の資産でもある。国のバランスシートで考えれば、この国債発行高は深刻に考える必要はない。他方、地方

市内をかつて流れていた 用水に光を当てられないか

古畑俊男

(元気！小金井)



①17世紀中ごろ、江戸の水不足を補うために玉川上水が開削された。その後、市内にも砂川用水、小金井分水が築かれ、市の礎となった。②社会福祉協議会が売却を検討している「旧いこいの家」には池を配した素晴らしい日本庭園がある。当該土地は砂川用水と接面しており、遺贈者の遺志を継ぐためにも、そのまま親水公園として整備し、また、存在する井戸から砂川用水へ水を流して、近隣のきりの木公園を子どもが喜ぶ親水公園として整備しないか。

部長 実際に公園として整備をするのは難しい。きりの木公園は活用方法によって質の向上が見込まれる公園として位置付けている。

市長 思いには共感するが課題が多い。社会福祉協議会の考え方が重要なベースとなる。

新成人の誕生日にカード を子ども意見表明権

水谷たかこ

(こがおも)



①4月から18歳成人が施行される。(ア)対象者人口がほぼ同数の他自治体では、誕生日にカードと啓発グッズを送付している。本市でも実施しないか。(イ)高校の中に期日前投票所の設置を。

部長 (ア)18歳〜20歳へ一斉に案内を送付する予定。

局長 (ア)有権者としての意識付けは18歳になる前から必要である。他部署と連携して検討する。(イ)過去には他自治体での事例があるが、最近の都内の選挙での事例はない。場所やネットワーク環境、安全管理等の課題が多く、考えていない。

②子どもの意見表明権を保障する事業として、小金井教育の日が位置付けられているが、大人が聞きたいことを聞く、という位置付けになっていないか。今後の事業の方向性は。

教育長 意見を聞くとは、大人が用意した場で発表させることではない。意見表明する力が育つような土壌を耕す努力をしていきたい。

個人情報保護は どう変わるか

湯沢綾子

(自民党・信頼)



個人情報保護法の改正により、デジタル化に対応したデータ流通の加速と個人情報保護の両立が図られ、市の制度も大きく変わることになる。現代社会において個人情報保護は極めて重要であり、市民の権利を守るために市には今後も主体的な姿勢が求められる。(ア)個人情報保護の定義が変わること、また要配慮個人情報(信条・病歴・犯罪歴など)の保有制限がなくなることによる影響はあるか。(イ)情報を取得する際の利用目的の特定及び本人への明示はより厳格になるが、これまでの運用で基準を満たしているか。(ウ)匿名加工情報はうまく活用すれば市民にもメリットがあるが、加工の程度によっては個人が識別されるリスクがあるなど課題も多い。市の考え方は。

部長 (ア)個人情報とされる範囲が狭まる可能性はある。大きな影響を受けることはないと考えられるが、個人の権利利益の保護水準が低下することがないよう慎重に対応する。(イ)最近では子育て世帯への給付金支給のため、児童手当の受給状況を目的外利用した。恣意的な運用にならないよう注意する。(ウ)現時点で市町村への適用は任意であり早急に進める考えはない。他市の状況も踏まえて研究したい。



18歳の誕生日に送られるメッ
セージと啓発グッズ(他自治
体の例)

公立園の保育方針について／原発事故の対策は



安田けいこ(生活者ネット)の違う子どもの痛みや喜びを感じる豊かな心を育てたい。

公立園は子どもがのびのび遊べる園庭、室内ホール、プール等の環境があり、保育内容の保護者満足度も高い。(ア)保育士を「先生」と呼ばない理由は。(イ)行事の保育方針は。(ウ)安全で美味しい給食は誇るべきもの。レシビをHPで公開しないか。(エ)異年齢保育が目指すものとは。(オ)市長は廃園方針を子どもにどう説明するのか。部長 (ア)共に過ごす仲間であり、上から教えるのではなく伝えるという意図がある。(イ)その日に合わせた取組ではなく、丁寧な毎日の積み重ねの延長に行事がある。(ウ)研究したい。(エ)年齢

野外調理場の協議の在り方を提案する



水上洋志(日本共産党)が認められるとされているが、その内容は限定的ではないか。

デジタル関連法は、国や地方自治体のシステムを標準化し、自治体が所有する個人情報や企業などが活用できるようにすることが目的とされている。4市共同でシステムの標準化を行うことについて個人情報保護の問題について問う。(ア)独自の助成制度などのカスタマイズができなくなるのではないか。(イ)個人情報保護制度について全国共通ルールを設定されるが、今後のスケジュールはどうなのか。(ウ)要配慮個人情報、独自の規律の追加などは許容されないとされている。必要最低限の保護措置を検討する。

庁舎建設は発想の転換で大幅なコストダウンを



渡辺大三(情報公開)環境部・選挙管理委員会などを入居させるのはどうか。

固定観念、従来型の発想が、庁舎建設コストを割高にしている。大幅コストダウンを可能にする試案を提示し、市長の見解を問う。①コストダウン事例を紹介(高浜市、八千代市、行方市、松本市、明石市、美濃加茂市、下田市)。②自治体DXを徹底することにより、非常に大きな床面積の縮減が可能。③人口規模と庁舎床面積はある程度比例する。人口が10%減少した場合の床面積は千200千300㎡、20%の場合、2千400千2千600㎡減少する。④保健センター跡の床面積は2千300㎡である。都市整備部・

公園の魅力向上策と浴恩館公園の未来を問う



岸田正義(みらい)協働の推進は軸となる重要な視点、視察後にお話を伺いながら反映していきたい。

①公園レンタルのオンライン申請を活用しないか。(イ)高評価を得たキッチンカーを浴恩館公園や上水公園、三楽公園等にも展開しないか。(ウ)市民参加で創る公園のために提案した、指定管理者制度導入の検討状況は。②公園の指定管理者制度は市民協働の推進が重要であり、市民と意見交換を行い募集要項や仕様書に必要事項を盛り込むべき。部長 (ア)有効な手法と認識しており、研究したい。(イ)事業者の意向も踏まえながら検討したい。(ウ)導入効果が高いと判断し、本定例会に報告する予定。(エ)市民

18歳まで医療費無料化を補聴器への助成を



たけ久貴(日本共産党)円と大変高く簡単に買えない状況にあり、保有率は14%である。補聴器購入費への助成を行うことを求める。

①子どもの医療費無料化について、東京都が18歳まで拡充することを表明した。市として予定されている中、学3年生までの所得制限撤廃とともに、18歳までの医療費無料化を早急に所得制限なく行うことを求める。部長 今後検討していく。②聞こえのバリアフリーが求められている。高齢者の半分がなると言われている難聴は、認知機能が低下しコミュニケーションに支障が出て社会参加の機会が減ってしまう。それによりうつや認知症のリスクも高まると指摘されている。しかし、補聴器は平均で30万

生活困窮者への居住支援を放射線副読本の問題



片山かおる(市民力エール)放射線副読本とチラシの問題を把握すべき。

①(ア)居住支援協議会が設置される機会に無料低額宿泊所等からの退所支援を。入所者への見守りを拡充すべき。(イ)八王子市を参考に家賃補助制度の開設を。(ウ)民間賃貸住宅を借り上げ、みなし公営住宅を。部長 (ア)できるだけ居宅への移行を支援。(イ)居住支援協議会で協議する。市長 居住支援協議会の運用は非常に重要な政策になる。②(ア)東京学芸大学の防災学習室と連携し原発事故の記憶を伝えたいか。被災地の教育実践記録に目を向け原発事故の教訓を振り返る



子どもなどが直面するジェンダー平等について



森戸よう子(日本共産党)緑と周辺環境保全の声が上がった。(ア)擁壁3mをなぜ認めたのか。(イ)東京都景観条例に基づき、開発区域の緑化を求めないか。(ウ)まちづくり条例に国分寺崖線を守る規定を補充しないか。

①子どもや若者の間でインターネットなどの発達により、被害が増えている。(ア)ユネスコは科学的見地に基づき、性と人権などを組み合わせた発達段階に応じた包括的性教育のガイドラインを作成し、普及・啓発している。教育委員会の見解は。②(イ)都の命の安全教育のモデル事業を実施しないか。(ウ)産婦人科医等の講師による学習の場を設けるべき。部長 (ア)包括的性教育は推進すべきと考える。(イ)ウ)来年度産婦人科医を講師に招き中学校2校で実施予定。③前原町三丁目の大規模開発に対し、国分寺崖線の

| 閉会中の委員会日程及び審査案件 | |
|---|---|
| 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 開催日時：4月20日(水)午前10時 審査案件：18件 | 行財政改革推進調査特別委員会 開催日時：5月17日(火)午前10時 審査案件：1件 |
| 厚生文教委員会 開催日時：4月28日(木)午前10時 審査案件：10件 | 議会運営委員会 開催日時：5月19日(木)午前10時 5月30日(月)午後2時 審査案件：7件 |
| 建設環境委員会 開催日時：5月9日(月)午前10時 審査案件：7件 | 総務企画委員会 開催日時：5月24日(火)午前10時 審査案件：15件 |

※各委員会の審査案件は、QRコードをスマートフォン等で読み取り、ご覧いただくことができます。

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

自由民主党・信頼の小金井



遠藤 (ア)はけのみどりを保全するための施策は。(イ)庶民の暮らしや民俗学的事柄を表す基層文化の捉え方は。

市長 (ア)法律や東京都条例を活用し特別緑地保全地区や環境保全緑地に指定していく。(イ)地域史講座の開催や、「小金井の石造物」の刊行。また文化財センターの展示も基層文化につながり、郷土愛を醸成することからも大切なことと理解している。

清水 地域には複合的な問題があり、解決のため行政の縦割りを打破すべく福祉総合相談窓口が開設されたと考える。ヤングケアラーやケアラー、認知症の家

族介護者の方々は、「介護」は家族が行わなければならないと家族内で抱え込み表面化しづらい状況にあるが今後の対応は。

市長 生活上の不安や課題解決に向け一人一人の状況に応じた継続的な支援を行っていく。

湯沢 (ア)地場野菜の学校給食への利用拡大は関係者の努力により一定のところに達した。更なる拡大のために補助制度等の導入検討を。(イ)新たにいじめ問題対策委員会が設置された。市や学校は責任を回避せず真摯に向き合うこと。

市長 (ア)先進市の取組を参考に新たな補助制度を検討していく。(イ)軽微な兆候も見逃さず子どもを守り通す姿勢を見せていく。

吹春 行政運営では具体的なイメージが見えず、市

長としてのリーダーシップを感じられず残念である。防災は僅か4行しかなく自助、共助、公助の言葉すら無い。防災対策が十分で無い状況であれば防災に関する心構えを市長として施政方針で伝えるべきではないか。

市長 災害対策への思いが十分に伝わっていない指摘は真摯に受け止めさせてもらいたいと思う。

五十嵐 昨年11月に中期財政計画が示され、大変厳しい財政状況から庁舎建設には一定の年数をかけてコストダウンの検討をするように求め既に3か月、いまだに回答がない。庁舎機能の改善を図るための説明は少なく、黙って財政的な裏付けを待つ状況にはない。

市長 回答の時期を明確にするのは難しい。機能改善に課題があることは承知している。

みらいのこがねい



村山 市長任期2期目の2年で達成したことは何か。

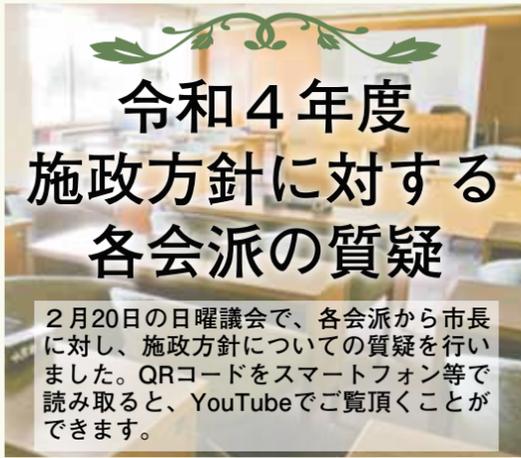
市長 保育園の新規開園等で定員増を進め、令和3年4月の待機児童は41人まで減少。武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業の竣工。福祉総合相談窓口の開設。病児・病後児保育事業の拡充。義務教育児童医療費助成の所得制限を小学校6年生まで廃止。コロナ発生後はワクチン接種に全力を挙げている。

村山 最上位計画である第5次基本構想について(ア)まだ議決されていない大変な状況が続いている理由をどのように捉えているか。(イ)いつ市長は議会に対し、打開策を示すのか。このままでは3月3日の特別委員会で総括質疑に入れない。(ウ)庁舎建設を進めるに足る論拠を示し説得せよ。議会に対し説明の場を作るべき。

市長 (ア)議会から新庁舎建設に関連する多様な意見をいただいている。新庁舎建設の財源を含めた中期財政計画案を示したが、財政見直しに対する不安を払拭する環境をまだ十分に整えていないと理解している。(イ)現時点では検討中であり、早い時期に示せるよう引き続き努める。(ウ)合意形成に必要なことはやらなければいけない。真摯に受け止める。

村山 庁内人事について(ア)新たに副市長をもう1人任命し、庁舎問題の事実上のトップにする推進体制を考えないか。(イ)民間企業との人材交流の拡充を求める。(ウ)女性を管理職に登用し、ジェンダーバランスを配慮せよ。

市長 (ア)2人副市長制に向けて努力したい。(イ)非常に有効な方策だと考えている。(ウ)まずは係長職として活躍してもらおう環境を構築することで登用につなげたい。



小金井をおもしろくする会



水谷 施政方針では「信頼される行政運営に取り組むべく、説明を尽くす」とあるが、市民からは「保育園の廃園については説明も不十分、提案の仕方がおかしい。他の市政運営についてもこんな強引な進め方をされるのかと不安になった。」との声が届いている。市民の意見に真摯に対応していただきたい。

市長 私としては、これから真摯な対応をしてまいりたい。

白井 施政方針に「常々大切にしてきました対話の姿勢」とあるが、市長の行動そのものが、参加と協働の理念やまちへの誇りや愛着を醸成するということと真逆で、その機運すら減退させることに繋がるのではないかと危惧している。真の対話に改めていただきたいがどうか。

市長 私自身の姿勢や行動についてもご理解いただけるように引き続き努力してまいりたい。

日本共産党小金井市議団



たゆ 新型コロナウイルス感染拡大の中で、誰一人取り残さない、住民福祉の向上が求められている。低所得者への給付金など市民と事業者への市独自の支援策を行っていく必要がある。新型コロナウイルス感染症について、無症状者の無料のPCR検査の延長、在宅療養者や医療提供体制の支援について強化すべきである。

市長 今後も国や都の交付金を活用し、市の役割を果たしていきたい。新型コロナウイルス対策はこれまでの取組を検証しながら、取り組んでいきたい。

水上 この間の「行革」は、学校給食などの委託化、がん検診の有料化、難病者福祉手当の縮小などだったが、財政効果は限界であると自ら認めている。「行革」は市民生活の向上のために行うことが最大の目的だ。委託化など見直すべきである。自治体のデジタル化問題については、便利で効率的になることは必要だが、現在国が進めている内容は、市民の個人情報を民間企業などに提供するものである。

市長 自治体DX、公民連携アウトソーシング、公共施設マネジメントに取り組んでいくことが重要である。

森戸 市長は対話の姿勢を中心に据えるとしているが、一方的な説明である。公立保育園廃園問題や新庁舎建設について、パブリックコメントの声が反映されていない。パブリックコメントの在り方を改善するとともに、2015年市長選の公約である、「自治基本条例」の制定が重要となっている。条例を制定すべきではないか。

市長 パブリックコメントを出された市民の意見を十分に検討する必要がある。2期目の市長選では自治基本条例は含めていない。策定は考えていない。

小金井市議会公明党



小林 昨年からの事態が全く打開できておらず同じ質問をする。コロナ禍において新庁舎建設が市民生活に影響がでないという具体的な見通しは、いつ示されるのか。

市長 早い段階でお示しできるよう鋭意努力したいと考える。中期財政計画は既にかなり変動が生じてい

ることをご理解賜りたい。令和7年度末、財政調整基金残高が一桁にならないよう努力したい。

渡辺(ふ) 市政運営の基本政策である第5次基本構想では、第4次で市が目指すべき根本目的としていた「市民の幸せの増進」を市民福祉の増進に置き換え、市民公募で決定した愛称「小金井しあわせプラン」の名称も捨て去ったことは、表現の後退ではないか。

市長 住民福祉の向上を分かり易く幸せの増進としたが、特別委員会の意見で同意語に修正した。

宮下 市の財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は、西岡市長の就任時点と比べて、悪化の傾向が続いている。今後も、歳入確保、歳出削減、職員数削減を管理項目とすべきでは。

市長 新たな行革プランにおいても、従前同様、具体的な取組の進行管理を行うとともに、職員数の適正化等にも取り組む。強い危機感を持った計画として作中である。

市民といっしょにカエル会



片山 (ア)公立保育園廃園方針提案や説明会、パブリックコメントなどの準備行為は、具体的な影響のある準備行為ではないという担当課長の答弁を容認するのか。(イ)コロナ災害の中で整合性のない計画への意見の求め方は市民からの信頼を失墜させる。改めてほしい。

市長 (ア)担当と同じ認識である。(イ)市民の信頼を損なうことのないよう、努力が求められる。

情報公開こがねい



渡辺(大) 渋谷区では7年前、民間出身の副区長を就任させ、役所に行かずに相談も手続もできる庁舎を目指し、デジタル化を進めてきた。本市も庁舎設計にデジタル化を反映させなければならなかった。床面積の縮減にも非常に寄与する。早期に手を打ち、設計に反映されていれば、大きな効果を生んだのではないか。

市長 これからしっかりと取り組みたい課題だ。

生活者ネットワーク



安田 (ア)新庁舎建設が進まないのは市長の決断力とリーダーシップが著しく欠けているからではないか。(イ)子どもが本来持つ力を引き出すには意見表明や参加の機会が重要。子どもに関わる施策は子どもにも意見を聞くべき。

市長 (ア)自分の資質について評価は難しい。(イ)子どもの成長を促すために自己肯定感を高める豊かな体験ができる基盤を作りたい。

元気！小金井



古畑 第5次基本構想案に掲げるみどりと水の環境整備については、美しく質の高いみどりと水をまちづくりにいかすとあるが、市長の考えはどのようなものか。

市長 国分寺崖線や玉川上水などの環境に恵まれたまちである一方、住宅都市の側面からも宅地内の緑化指導等によりみどりの管理にも努め、自然と都市が調和した人に優しいまちづくりを進めたい。

緑・つながる小金井



坂井 「はけと野川を壊す都市計画道路」の記載が消えたのは、遺憾だ。2020年度、2021年度と2年連続で記載があった。目下、策定中の都市計画マスタープランで、一定の姿勢を示しているのに、どういうおつもりか。

市長 私が、意図的に文章を外した経過はない。令和2年5月に都知事宛に市長名で要望した内容に現時点で変わらない。あの中に私の思いは述べた。

原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和4年6月2日(木)開会予定です。